

「地域との対話・自分ごと化を通じた地域交通政策を始めよう」 —福岡県大刀洗町の公共交通政策を事例にした勉強会からの事例報告—

大島 隆 地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu 世話人
大井 尚司 大分大学 教授／同世話人代表

1. はじめに

本誌 370 号の本欄で、九州で地域・交通問題を考える勉強会組織「地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu (以下 Q サポネット)」が 2024 年の九州支部「九州まちづくり賞」を受賞したことを報告した。本稿では、2025 年 1 月 11 日、Q サポネット主催の勉強会「地域との対話・自分ごと化を通じた地域交通政策を始めよう」で福岡県大刀洗町から話題提供のあった「『対話』から始まる交通政策」について報告する。

2. 福岡県大刀洗町とその公共交通の概況

福岡県大刀洗町の人口は約 1 万 6 千人で近年、人口や子どもの数が増加に転じている。面積は 22km² でその 60% が農地である。

同町は 2023 年に民間の調査で九州・沖縄地区の幸福度 1 位となったが、町の総合計画アンケートでは公共交通に対する満足度が低く、公共交通の確保維持と交通弱者対策が課題である。町内 2 駅の一日常乗降人員が各 400 名弱の西鉄甘木線沿線では、2026 年 3 月末に公立高校が廃校予定であり、利用者の一層の減少が懸念されている。町内にタクシーの事業所がなく、町内の一部地域で校区巡回バス（週 3 日）や乗合定額タクシーの運行はあるものの、公共交通空白地域が多い。

3. 大刀洗町が重視する住民・職員の「対話」と「自分ごと化」

中山哲志町長は「少子化や人口減少をはじめ、ゆっくりと、しかし確実に外部環境が変化する中、何もしなければ、気がつけば役場も茹でガエルになっているかも知れません」と語り¹⁾、行政がリスクを取って新たなことに挑戦する重要性を訴えている。一方で町職員数は約 90 名であり、そのリソースには限りがある。そこで同町は、行政改革に加えて、町職員や町民が「対話する」、「参加する」まちづくりを進めてきた。

その 1 つが、2014 年から無作為抽出で選ばれた町民が町の重要な課題に対して提言を行う「大刀洗町住民協議会」別名「自分ごと化会議」²⁾³⁾ である。町民が町の様々な課題を行政任せにせず「自分ごと」として、解決策や税金の有効な活用方法を考え、意見するための取り組みを進め、課題の現状を知り意見を出し合うことで、町民の意見の行政への反映や、町民同士の相互理解を進めることが目的である。

住民協議会のテーマはゴミ、治水災害対応等で、2018 年には鉄道をテーマにした協議会が開催され、「西鉄甘木線の乗降者数激減にともなう存続問題」に焦点を絞り、鉄道の現状について学び議論を行った。その結果、これまで鉄道に乗

ることが無かった参加者が毎週孫を連れて電車に乗るようになるという行動変容が生まれ、提言「駅のイメージを変える」から、大刀洗中学校美術部と九州産業大学芸術学部等が連携し、駅を明るくするために駅の塗り替えを行った。地域公共交通の課題について住民が主体的に考え、意見を述べる場をつくり、その意見を実際に反映した取組みとなっている。

表 1 2018 年度大刀洗町住民協議会答申（鉄道の自分ごと化）

- | |
|--|
| ①より多くの人が鉄道廃線の危機感を持つための働きかけを行う
②鉄道のメリットの明確化など、まずは利用が増えるための試みを何でもやってみる
③鉄道利用者を増やすために行政、事業者、町民が一体となって積極的な PR 活動を行う
④定期利用者、特に子どもに寄り添ったサービスを行う
⑤パーク＆ライドが定着するよう活用にとさらなる工夫をする
⑥駅までのアクセスの改善などによって、他の移動手段から鉄道に切り替えるための必然性をつくる
⑦駅のイメージを変える
⑧電車に乗る以外の支え方を考える |
|--|

4. 地域との対話・自分ごと化の意義と今後の展望

町設定の会議では「自分に出来ること、地域に出来ること、行政が出来ること」を確認するので、住民から行政への陳情意見ばかりになるような会議がないという。また、「自分ごと化」を基本にした対話をしていると、例えば老人クラブ役員や小学校教育に関与している住民から、その役割に基づいた具体的な意見が出るようになり、それ自体が政策のコンテンツになるという。つまり、住民が意見を言う環境を創ることで、住民の行動変容が生まれ、未来志向の提案が生まれるようになっている。

大刀洗町が地域との対話・自分ごと化を重視したまちづくりを始めて 10 年余りだが、今後の一層の進化が期待される。また、そのようなまちづくりへ本稿がヒントになれば幸いである。

<謝辞>

本稿執筆及び勉強会開催にあたり、大刀洗町地域振興課の村田まみ課長・企画財政課の田中佳倫様には多大なるご協力を賜った。この場を借りて厚く御礼申し上げる。なお、本稿執筆および残された誤謬はすべて著者の責めによるものである。

<参考資料>

- 1) 大刀洗町ホームページ町長あいさつ
https://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/page/page_02158.html
- 2) 同上「住民協議会」
https://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/chousei/shisaku_keikaku/kyougikai/index.html
- 3) 伊藤伸 (2021)『あなたも当たるかもしれない「くじ引き民主主義」の時代へ：「自分ごと化会議」のすすめ』朝陽会（注：無作為抽出で選ばれた住民が政策提言することを「くじ引き民主主義」という。）